

りんごせん定枝を菌床に、ひらたけを栽培

1 事業の主体

事業実施主体	アップル・クリーン研究会	代表者	東 良一
住 所	青森県黒石市大字花巻字下平60-1	電話番号	0172-54-8504

2 地域の現状 (施設が所在する市町村又はバイオマス利活用に地域との関連がある場合はその市町村のデータ) 施設が所在する市町村名：(黒石市)

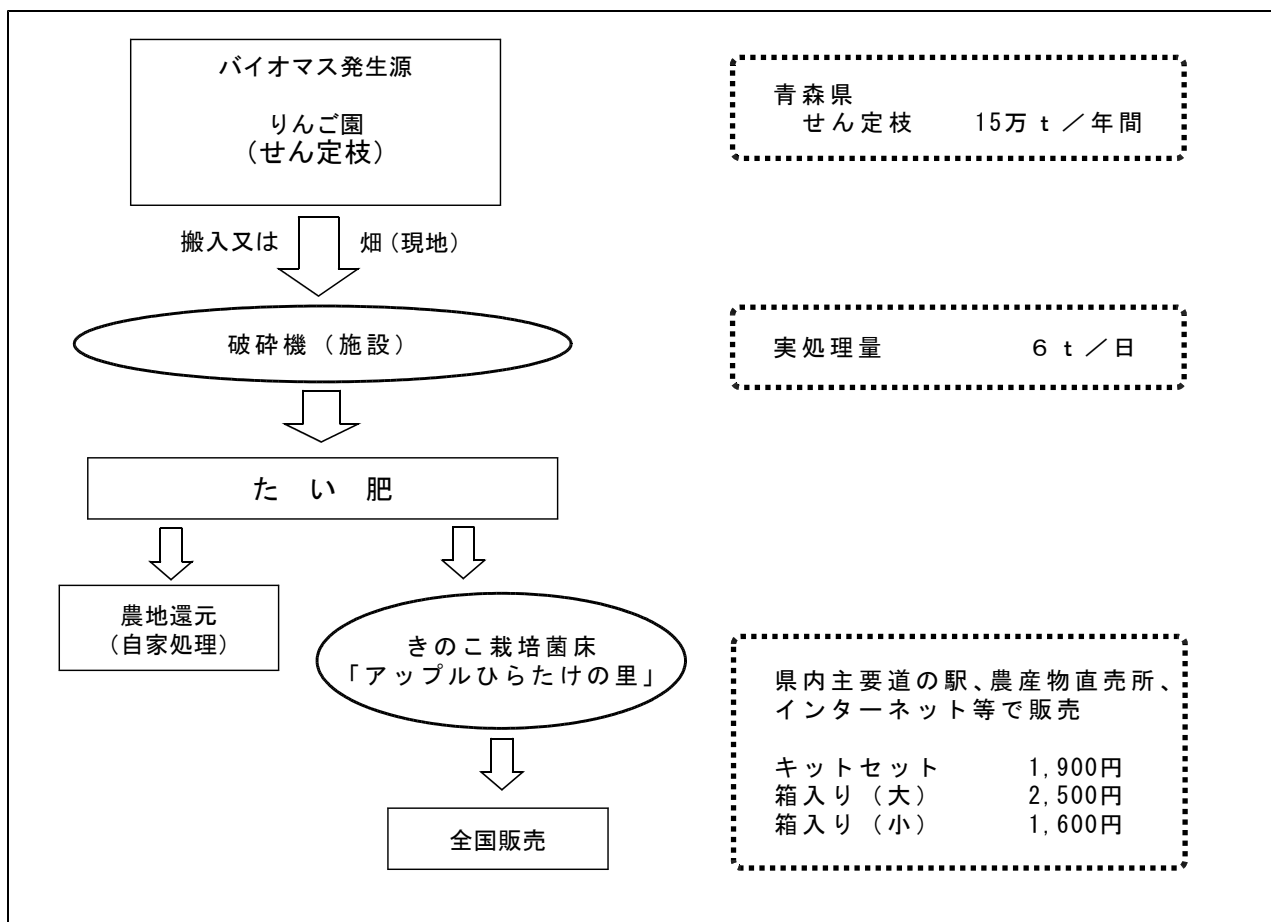
総世帯数	11,817 戸	農家数	1,706 戸	林業経営体数	81 戸	漁業経営体数	- 戸
総人口	38,455 人	総土地面積	21,696 ha	林野面積	14,426 ha	田耕地面積	1,920 ha
普通畑面積	361 ha	樹園地面積	1,640 ha	牧草地面積	68 ha	乳用牛頭数	x 頭
肉用牛頭数	x 頭	豚頭数	- 頭	採卵鶏羽数	x 羽		

3 事業の概要

黒石市は、結果樹面積1,670ha、収穫量27,800トン（いずれも平成16年産）とともに全国第4位のりんご産地である。管理過程で発生するりんごのせん定枝を、これまでは家庭用暖房や園地で焼却されていたが、再資源として活用し資源循環型農業の実現を目指そうと、同市の認定農業者6名で、16年1月にアップル・クリーン研究会を立ち上げた。たい肥造りに取り組みながら研究開発を続け、全国でも初めて「きのこ栽培菌床」の開発に成功し、生産・販売を開始した。

4 現在の取組状況

推進体制、収集システム (バイオマス利活用の関係団体等のフロー図)



5 施設の概要

施設名称	(株) あおもりりんごランド (個人会員施設借り受け)	電話番号	0172-53-5701
施設設置主体	黒石市 (個人会員施設)	稼働開始年	平成16年
導入補助事業	無し		
主な設備	リンゴ冷蔵庫 (一部借り受け) 作業室・会議室	施設整備費 運転状況等	20 千円 1日の稼働時間: 8 時間 年間の稼働日数: 30 日

施設のシステムフロー (画像)

(せん定枝の集積)



(破碎機によるせん定枝の破碎)



(たい肥利用でのアップルひらたけ栽培)



(せん定枝のたい肥作り)



(画像提供 アップル・クリーン研究会)

6 経済試算 (ランニングコスト、施設の減価償却費、耐用年数)

施設維持費 (借用代) 20,000円

7 経済面以外の資産 (事業の効果 (実績)、今後期待される効果)

せん定枝をたい肥化する技術は以前からあったが、せん定枝をチップ化するための破碎機が高価なことなどから定着しなかった。16年4月に(株)日本原燃から助成を受けたのを機に破碎機を購入し、本格的な取組を開始した。

たい肥のほとんどはりんご園に施用されるが、様々な農産物にも有効利用したいと、研究を重ねた結果、きのこ栽培菌床の生産にこぎつけ「アップルひらたけの里」の販売を始めた。また、きのこ栽培菌床以外にもせん定枝の有効利用の可能性を模索している。

8 現在の課題と展開方向

たい肥づくりは、チップ状になったせん定枝に乾燥鶏ふんと石灰窒素をサンドイッチ状に混ぜ、半年以上腐熟させるなど時間や労力がかかる。

家庭で「きのこ」を栽培し、食するという商品は類似品がなく、一般消費者に対する浸透度が低いだけに、販売では苦戦を強いられている。

また、今は真冬でも「きのこ」が栽培可能かどうか、データを集め、今後もせん定枝の有効利用のためにも、毎年生産を続けたいと研究に励んでいる。